



広島商工会議所
青年部会報 2000.10

jump

新情報

おすすめ

リンク集

ネット検索

ソフト



サマ - フェスタ・国内研修...、初の試みも成功。 仁田丸、順風航海。



CONTENTS

-  6月例会講演会「これからの企業経営とISO認証取得」.....2
-  紙屋町地下街視察レポート3
-  SUMMER FESTA in マリントーク瀬戸内4
-  YEG 国内研修 in 松山5
-  9月例会講演会「21世紀モバイル革命
~究極のパーソナルメディアモード」他.....6
-  2002年 中国ブロック大会に向けて7
-  特集 広島 No.1 を探せ！8

YEGメッセには是非ご来場下さい
平成12年10月27日(金)
・YEGメッセ企業展示(62社)
14時~17時
商工会議所101号室
・プレゼンテーション(14社)
14時15分~16時30分
・懇親会(会費2000円)
17時~18時 202号室

次ページ

6月例会報告

講演「これからの企業経営とISO認証取得」

6月23日、経営者開発委員会（安川委員長）の担当で、株式会社シブヤ代表取締役 渋谷憲和氏をお迎えし、「これからの企業経営とISO認証取得」をテーマにご講演をいただきました。

日時 平成12年6月23日
場所 広島商工会議所101号室
講師 株式会社シブヤ
代表取締役社長 渋谷憲和氏

ISOとは何か

ISOとは生活する上で共通でなければ困る規格であり、お客様の満足するものを作り上げるシステム（満足されないものを排除するシステム）であり、品質管理のISO9000シリーズと国際環境規格のISO14000シリーズが有名です。かつて流行ったTQCと比較するとTQCは売れる側、作る側からの自主的な品質管理でありボトムアップの流れですが、ISOは買手立場からの品質管理であり、トップダウンの流れで作っていくものです。

また、現在の企業をとりまく環境を見てみると、国、親会社、取引先、海外からISOを要求される状況に徐々に近づいてきます。

では、具体的にISOについて見てみましょう。我々にもっとも身近なISO9000を例に取ると、その特徴は、製品規格ではなくシステム規格である、顧客が要望しているものを具現化し、提供する、文書化し記録を残す自前の品質システムである、内部監査（自己診断）、外部審査をおこなう、経営者自らによる見直しをおこなう（マネジメント・レビュー）、

マニュアルと通りの作業により製品・サービスの品質を一定にさせることができる、という6つが大きくあげられます。

何故今ISO9000が必要か

またISOを取得して会社がどう変わったかにおける有利性の強化、作業の標準化が可能、責任権限の明確化、問題点の顕在化（文章化することにより、問題点がとらえやすい）ということがあげられます。ではISOを取得してわが社がどう変わったかといいますと、海外取引先へのアピール、責任の明確化、計画的な教育訓練、品質に対する意識向上、書類による指示の徹底などがあげられます。

ISOを取る過程・方法

実際にISOを取る過程としては、まず第一に、トップダウンのシステムなので「ISOをとる」という経営者の強い決断が必要で、次に、プロジェクトチームを立ち上げ現状を把握させる必要があります。それから、経営者が品質方針をたて、その品質方針に基づく業務にそったシステム計画を立てます。そして、計画を文書化し実行を記録に残し、不適合があればこれを是正し内部監査を行い、より良いシステムを作っていきます。以降、このサイクルを繰り返していくこととなります。

ISOを取得する上でのハードルISOを取得するにはいくつものハードルがありますが、大きなものとしては、トップダウンの思想を周知徹底させる（これが大変難しい）、作業する人が、次工程がお客様という認識を持つ、内部監査・マネジメント・レビューというこれまでになかったシステムの定着化、通常業務を行いな

がらの文書作り、得意先・周辺へのISOに対する理解・協力の5点があるといえます。いずれにしても、ISOを取得するのは大変なことで、このハードルを越すためには全社一丸にならないとまず出来ません。社長だけが旗をふっていたのでは取れません。また、自分がISOを持っていないくても、取引先がISOを持っていると、検査記録を出してくれとか、立入り検査をさせてくれと言われることもあります。取引先は常に相手の能力を評価している

ので、ISOでなくとも品質管理体制を整えておく必要はありますし、このくらいのことはされても大丈夫だといふ体制は整えておかれたほうが良いと思います。

コンサルトト事業について

自分達だけでISOを取得することも不可能ではありませんが、大変な労力を要しますし、コンサルトに頼んだほうが便利なおも多々あります。それでは、いつコンサルトに



講師の渋谷憲和氏

頼むかという、短期間で認証取得したい時、認証取得と同時に経営変革をやりたいとき、社内に取得のノウハウがない時などが考えられます。また、コンサルトによつては丸抱えで全部やってくれるところもありますが、それやると3年後の更新の時に困ります。できるだけ自分達でやるほうが内容も身につきますし、その後のスパイラルも構成されていきますので、できるところは、できるだけ自分でやられることをお薦めします。

当社でも6段階プログラム教育を軸に、ISOの規格解釈についてのレクチャー、文書作成支援、文書類と実際のギャップ調整支援をおこなっていますので、ISOを取りたいと考えられている方は是非お気軽に声をかけてみてください。

この後「身近なISO」というテーマでトレーニンググループの、本副会長をコーディネータに榊シブヤの新中郁夫氏、三浦工業㈱の三浦俊哉氏、肥海建設㈱の肥海裕司氏をパネリストに迎え、ISO取得の動機、取得までの流れと苦労、取得後の変化と効果について活発なパネルディスカッションがおこなわれました。



パネルディスカッションの様子

TOPICS

新入会員の皆さんへ

オリエンテーション開催

例会の前に総務委員会主催の新入会員へのオリエンテーションが開催されました。10名の新入会員の自己紹介後、まず大野顧問より青年部の設立目的（商工会議所そのものの発展・活性化と一人一人の会員の研鑽と能力アップ）とこれまでの歩みについて説明がありました。その後、仁田会長より、今年度の運営方針について YEGメッセ 家族会 国内研修という3つの柱を中心に説明があり、各担当役員から実際の研究会運営について説明がありました。



紙屋町地下街 Report 視察レポート

9月5日(火)に、中枢都市研究委員会の主催で紙屋町地下街「シャレオ」の見学会が実施され、31名の青年部会員が参加しました。最初に、講師広島地下街開発(株)常務取締役の高東博氏より地下街の概要を説明いただきました。以下は抜粋です。

目的 / 都市機能の強化街の魅力づくり・交通機能の強化

事業主体 / 広島地下街開発株式会社
(株主数/市県・民間104社)

総事業費 / 約486億円

地下街面積 / 24、930

店舗構成 / 80店程度

地下駐車場 / 206台

2001年春オープン予定
(9月30日現在)

いただいた資料の写真・図面では、地下街としては小さく思われがちですが、実際に見学してその場所にいると、工事中でもかなり広く感じました。参加者からも、広島経済の活性化が期待できるといふ声も聞かれました。



第2部

午後6時から始まった第2部は、榑タカキベーカーリーの名誉会長、景山崇人氏を講師にお迎えし、「広島島の経済交流の歴史と現状」成功された企業の経営者を訪ねる」と題して本通りのアンデルセンで行われました。景山氏のご講演では貴重な体験談を拝聴し、企業理念の大切さを学びました。

また、委員会終了後、同場所において景山名誉会長を囲んで、楽しい食事が開かれました。



SUMMER
FESTA
in
マリントーク瀬戸内

食べて、泳いで、飲んで、笑って…
第1回広島YEGサマーフェスタ、
夏空のもと、にぎやかに開催。

平成12年7月23日(日)、初の広島YEGサマーフェスタがマリントーク瀬戸内で行われた。当日は、夏の間が広がる絶好の海・日和。家族に、日ごろの広島YEGの活動ぶりを理解してもらおうとも、家族ぐるみの会員親睦を深めようという意図は十二分に達成。何より、子どもたちに楽しい夏の一日のプレゼントになったようだ。



宇品港をいざ出港。フェリー「ななくに」を1日チャーターと、贅沢な一日の始まり。



フェリーに乗り込んだと思いきや、気の早い人たちは、さっそくビールで乾杯!



マリントーク瀬戸内到着。「さあ、それぞれの食材は、自分たちで運んでえー」



会員親睦委員会の石田委員長、仁田会長のあいさつでスタート。「今日は、家族で存分に楽しんで下さい」



大野顧問の発声で「乾杯!」



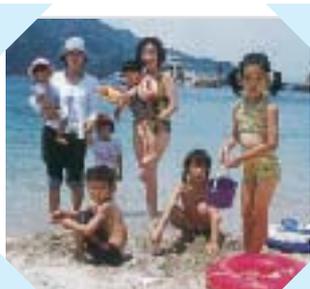
早速、バーベキューの準備。炭火起こしに、意外と苦戦。



はい、チーズっ! 普段なかなか見られない、リラックスした笑顔です。



ボールすくい子どもたちに大人気。開店から、あっという間に閉店してしまいました。



まさに、本日の目的達成。子どもたちもおおはしゃぎ。



すいか割り大会、始めま〜す!!



外野の声がうるさくて、子どもたちは迷っちゃっつ。さあ、思い切りエイ!



光田副会長のあいさつで。今日は、よく遊びました。

国内研修参加者日記

2000. 8. 4-5

YEG in 松山

YEG初の国内研修を行いました

8月4日午後4時半に広島港に集合。スパージェットで松山港へ。タクシーに分乗して6時20分頃会場の道後館に到着。

6時半より松山YEG役員との交流会が始まりました。両YEG会長の挨拶（）の後、お互いの組織や活動状況などの説明を終えて意見交換、最後に名刺交換を行い、交流会を終了しました。

場所を移して

松山YEGと合同の懇親会

大野顧問の乾杯（）で始まった懇親会も徐々に盛り上がり、藤田監事がコンパニオンを連れてカラオケを披露する頃にはあちこちで大きな笑いの輪ができてきました（）。何故かコンパニオンにズボンが脱がされて喜んでいる人も。最後は宗兼直前会長が締めを…とここで締めの前に1曲歌いますということで安川経営者開発委員長とテュエットを披露（）。懇親会もなかなか内に終了しました。

二次会は道後館の鼓というお座敷バー（）の組と外出組に分かれて、三次会・四次会とそれぞれに盛り上がりました。

国内研修/2日目

8月5日、今日は松山の視察研修。朝8時半にロビーに集合、大型バス1台に30人ほどが乗り込んで出発。今回のツアー添乗員は瀬戸内海汽船の溝口さん（）。ガイドさんのもったりしたしゃべり方がかわい山下かおりさん（）でした。

最初に行ったのは今、松山の若者に大人気という「パンガード」。護身用アイマスクを装着して、仮想の町の中、エアガンで撃ち合うコンバットゲームです（）。ルール説明を受けた後、5人ずつの組に別れて戦

うことになりました。ルールは、とにかくエアガンの弾が体のどこでも当たればその場でホールドアップ、網を張った会場の外へ。どちらかが全滅するか5分間で生き残ったものの数で勝敗を争います。それを2回戦。みんな始める前からやや興奮気味。私の組はいきなり顧問、直前会長、会長、副会長の組と対戦することになりましたが、ゲームとなればお互い容赦はありません。みんなまるで子供のようでした。それにしても仁田会長の戦いぶりは敵ながらあっぱれ…？開始1分もたたない内に敵陣深くいきなり無防備に飛び込んできて、エアガン乱射。びつくりしたこっちは隠れるまもなく、本副会長と私が撃たれてしまいました。が、仁田会長もほぼ同時に被弾してあえなく脱落。童心に帰って遊ぶとはまさにこの日のようなのを言うのでしょうか。でも、直接当たるとこの弾はかなり痛いのです。野村君は腕に痣を作りましたし、上田君も額が赤く腫れていました。

次に行ったのは坊ちゃんスタジアム（）。市民球場より素晴らしい球場で、高校の軟式野球愛媛県大会決勝戦が行われていました。次は「アクロス」（）。全長100mの屋内スノーボード場。すでに世界大会も開かれた本格的なハーフパイプも設備されていて、広島元宇品の「スノーバ」の倍以上の規模です。その後、市内の「五色そうめん」で昼食、皆で記念撮影をしました（）。

最後の訪問地は「アイテム愛媛」（）。松山は1年ぶりの4回目でしたが、初めて訪問する新しい施設ばかりで見どころ充分。広島市としても参考になるのではと感じました。（レポート/横田泰行）



9月例会を開催

さる9月22日、広島商工会議所1回の101号室において「9月例会」が開催されました。

講師は、㈱NTTドコモ中国モバイルマルチメディア事業本部法人営業本部長の山口雅明氏、ナスタック・ジャパン(株)営業企画室担当・部長の黒田喜久氏、㈱ハー・ストリー代表取締役社長の日野佳恵子氏の豪華な講師陣で、非常に内容が厚く、テンションも高くなり例年と異なり、限られたスペースの中で、その抜粋をしてみたいと思います。

第1部のテーマは、山口氏による「21世紀モバイル革命」究極のパターンマルチメディアiモード」。



iモードの現状について
昨年2月22日にスタートし、9月10

日現在で全国1165万台、中国地方

で56万台、内部ではこんなに伸びると思っていなかった。1年間で200万台いけば凄いなとかいっていたが、400万台に上方修正し、その後もとどまるところを知らなかった。iモードの公式サイトは、9月11日現在で764、公式でない一般サイトに関しては、全く数がわからない。iモードの基本コンセプトは、コンピュータユーザーしか出来なかったインターネット環境を一般コンシューマに開放。

現在のiモードの使われ方の特徴は、通話とメールがほぼ同じ割合で、若い人の中では、上級の友人には電話し、そうでない友人とはメールで済ますという風潮がある。また、ビジネスマンの使い方としては、来たEメールをiモードのメールに転送して、逸早くメールをチェックするという利用法もあるが、ただ256字という限界がある。

次世代移動マルチメディア

通信システムの開発動向

～世界統一に向けた
ドコモの取り組み

IMT 2000 (International Mobile Telecommunications-2000) の導入スケジュールは、今年4月3日、IMT 2000の導入に向けた事業変更許可及び無線局免許を申請し、来年5月末頃東京23区、横浜市、川崎市でサービス開始予定で、中国地方は2002年4月の予定。ドコモグループは、WCDMA方式に決定、端末の特徴はカメラがついていること。IM

2000で提供されるサービスは、高い通話品質、ビジュアルフォン・音楽配信端末、データ専用端末、マルチメディア対応自動車電話。

iモードとIT

iモードはITの1つのツールで、ITは仕事の流れそのものを変えていくもの。経営者にとって、ITを活用して、どう仕事の流れを変えていきたいのが重要な鍵となってくるであろう。

第2部のテーマは、黒田氏による「ナスタック・ジャパンの野望とベンチャー企業の展望」。



これまでの上場・公開は、時間が掛かる過ぎる、膨大な資料と複雑な手続き、たびかさなる審査など弊害が多く、一芸に秀でた会社の公開を支援するために、ナスタック・ジャパンは存在している。東証マザーズと比較されるが、ナスタック・ジャパンは決して大証の1部、2部の下部組織でない。上場会社数では、マザーズが1ヶ月目2つで

スタートし、9ヶ月目を経過した現在17。一方、ナスタック・ジャパンは1ヶ月目9つでスタートし、5ヶ月を経過した現在30になっている。

ナスタック・ジャパン・クラブを組織し、ナスタック・ジャパン市場へ上場を目指す起業家の皆様に全力でバックアップすることを約束している。資金調達など公開までのサポートし、昨年11月から毎週金曜日午後1時から5時まで6社各25分間のプレゼンテーションを開催している。ベンチャーキャピタル、証券会社などのスタッフが毎回120人から130人集まり、プレゼンテーション後には名刺交換を行う。多い人には100人以上並ぶが、少ないと0というケースも過去2回あった。

事業計画書の作成のポイントは、5 W 1 H (Why, Who, What, When, Where, How) の明確化。これはベンチャー企業でなくても、ビジネスマンにとつていついかなる場合でも基本中の基本ではないか。プレゼンテーション資料のポイントは、相手を知ること、自分自身で作ること、5 W 1 H、見易いこと(ヘッダーとフッターに名前を記載・少ないページで大きな内容)、興味をもっと駆り立てるような内容、ベンチャー企業のジャッジについては、何とついても儲かるかどうか、マーケット、シェアはどのくらい期待できるか、リスクはどこにあるか、10倍以上のリターンはあるか、IPOまでの期間はどのくらいか。

是非、このナスタック・ジャパンというツールを利用して、世界を目指して、ナスタック・ジャパンの願いだ。

第3部のテーマは、日野氏による「インターネットを活用したビジネスやボランティア活動の情報交換の場 中国版ヒットバレー五空について」。



2年前に売り上げが激減した際、トップが新しい時代の流れをつかまないといけないと思つて、全国を回つて、ITベンチャーの元気があふれる多くの人の出会いがあり、その元気を広島に紹介したくて中国版ヒットバレー五空を旗揚げした。中国5県は他の地域に比べて元気がないという評判だからこそ、これからも可能な限り積極的な活動はしていきたい。それと、最近わかつてきたのはITビジネスは、若くて斬新なアイデアとか、資本力に淘汰され、普通の中小企業の考えることでは太刀打ちできないかもしれない。ITとは関係ない、従来型の独自の技術や特許の裏づけがいかに重要であるかを痛切に感じている。但し、ITは販促宣伝の分野では大きな力を発揮するので、その面には今後も力を入れていきたい。

INFORMATION

「AIR FESTA IN HIROSHIMA 2000」が開催

8月7日、日航広島羽田線就航10周年、日航財団設立10周年を記念した「AIR FESTA IN HIROSHIMA 2000」の歓迎レセプション(主催/日航財団)がアステールプラザ内のリバークルーズで行われました。

アジア諸国の学生を毎年日本に招待し、日本の学生との相互理解を通じ、アジア地域の発展と国際平和に寄与しようという「JALSスカラーシップ」及び、日本の伝統文化である俳句を世界中に広めることを目的に始まった「世界こどもハイクコンテスト」との共同開催でした。

この歓迎レセプションに、YEG「文化研究委員会」(沖中委員長)、「国際委員会」(古田委員長)、「経営者開発委員会」(安川委員長)の会員合計20数名が参加しました。

得意の英語ですらすら会話する人、筆談で何とかコミュニケーションをとろうと頑張る人、「上を向いて歩こう」の歌を披露したり、最後は応援団式のエールを送って締めくくり、会を大いに盛り上げました。



2002年中国ブロック大会に向けて

平成12年度の中国ブロック大会鳥取大会が商青連スローガン「地域をつなぐYEG 新未来創造宣言」と開催地テーマ「風・流・砂・波」ととり見聞録」のもとに10月開催されます。

20日(金) 青年部連絡協議会

会長会議

21日(土) 分科会

砂丘周遊コース

少子化についてのパネルディスカッション

癒しと温泉と健康について

21日は3つの分科会が行われた後、武田鉄矢氏の講演会と、続く懇親会で幕を閉じます。

中国ブロック大会はそもそも中国ブロック内のYEGが一同に会して、交流と連携の輪を拡げる大会で毎年秋に開催されます。

「2002年中国ブロック大会準備特別委員会」(櫻井文晶委員長)では、2年後の広島大会を素晴らしい大会にすべく、今年鳥取大会に委員が積極的に参加して大会を体感するなど着々と準備を進めていく一方、広島YEG会員が一人でも多く、中国ブロック大会に興味を持ち、2年後には多大な協力と参加を頂けるよう呼びかけています。

新しく会員になられた皆さん

7月新入会員	坂井由紀子
山根 政勝 (株)ユニコン広島支店	ナチュラルク リエイティブメーカー(株)
見附 丈尚 (株)エス・ティ ソロ	9月新入会員
畑林 道和 (株)畑林工業	村 和吉 (株)宝塚酒販
藤本 信也 (株)ビスケット	篠原 敦子 (株)合同総研
船崎 賀秀 (株)サーマル	倉田 洋志 (株)クラン・コーポレーション
帆巻 俊之 (株)中国総合研究所	平岡 和美 (株)住宅システム販売
高橋 伸光 きっかわホテルフレックス (株)吉川旅館	浜脇 澄伊 (株)松柏
磯部玄士郎 (株)やま磯	宅味 義博 (株)サンキ
	森迫 泰弘 ブルデンシャル生命保険(株)

エール

広島県の元気を支える若い経営者のみなさんには明るいリーダーシップを期待したいですね

羽田別荘 女将 羽田悦子さん



創業は明治30年代。私が女将を継いで20数年が経ちました。その間、こうした料亭の役割もずいぶんと変化してきましたね。最近では、個人のお客様が冠婚などの節目にお使いいただくケースが増えています。以前は、さまざまな会社の支店長の方々にご利用いただくことが多かったのですが、やはり「支店の街、広島」も、その顔つきを変えてきているでしょうね。特に今は、変わり目だと思えます。その中で、少し気になるのは、「人の動きが少ない」と感じることも。もっと、多様性のある元気な広島であってほしい。そのためには、もっと明るさが必要だと思えますね。

仕事柄、様々な方とお会いさせていただく機会に恵まれています。「明るく、声が大きくて、気配りができる」という方には大きな人間力を感じます。これからの広島を創っていく若い経営者の方々には、ぜひ、明るいリーダーシップで会社を、そしてこの広島の街を引っ張っていただきたいと思っています。

